

自由投稿【国道1号線熱田伝馬橋架替工事雑感】

国道1号線の瑞穂から熱田神宮へ向かう伝馬町の工事現場を、受注業者の中日建設のご案内で8月26日に地元のご近所の方と一緒に見学しました。工事が始まって、かれこれ7年近く経つが、近隣では「いつまでかかるの?」「もっと早よ、やれんのか?」「抜け道が使えず不便だがネェ!」国道1号線は幹線道路、65年以上頑張った跨線橋。当時関わった現場の痕跡はこれまた凄い、先人の熱い工事内容と堅固な構造のコンクリートの厚さ、当時の技術の粋を随所に感じ入った次第。

さてさて何てたって国道1号線、おまけにJR東海道本線を跨ぐ橋の架け替えであり、容易には進められないのは道理。国道1号線とJR東海道本線は何れも絶対通行止め出来ない現場。強固な仮設橋のバイパスを脇に作りつつ、上り下りの4車線幅員の工事が進められている。かつての国道の擁壁を解体撤去するには近隣への騒音・振動を配慮しての難工事。工事・工期の苦勞と建設費も半端じゃない!? 知恵と工夫の詰まっ

た解体復旧工事の苦勞が分かります。完工まで後10年位かかるとの事。「竣工式の渡り初めのテープカットが出来んなァ! 生きとらんッ!」トンネル貫通式でないのでテープカットは致すか否か不明(影の声)。工事に伴い近隣の方々が育てた二つの植栽外圍が潰され淋しい限り、季節毎に楽しませて貰った数々の草花、オリーブ・枇杷の木等、皆で育てたあの植栽は復活するのかなァ? 「次世代へエールを送り、繋げましょう」「そうだよ! 話題のピックアップでは無くて、緑豊かな植栽空間を作って樹木愛護会を結成しましょう! これは夢だよネー」

ところで、名古屋国道事務所のHPによれば、JR東海道本線に架かる熱田伝馬橋は、老朽化による耐振性で現在架け替え事業を進めています。

工事延長は500mで、跨線橋は橋長は50m、幅員4車線のボックス桁の鋼橋です。取付盛土区間は液状化防止の鋼矢板を両サイドに打ち込まれ災害に強靱な構造になるそうです。



バックホー工事試乗重機と顔出しボードは私



仮設国道の脇と法面補強



ぶ厚いコンクリート構造と液状化防止鋼矢板



コンクリート舗装にカッターを入れるライン